

商工観光部

平成29年度 重点目標

- 1 地方創生に向けた地域産業の活性化
- 2 地方創生に向けた創業支援と企業誘致・留置の推進
- 3 UIJターン促進と若者等就職支援及び人材育成、雇用のマッチング促進
- 4 ポスト「真田丸」を見据えた国内外の観光振興
- 5 中心市街地の活性化と中心商店街への回遊促進

平成29年度 重点目標管理シート

重点目標		地方創生に向けた地域産業の活性化		部局名	商工観光部	優先順位	1位
総合計画における 位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第2節 地域経済を牽引する工業（ものづくり産業）の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 1 上田で働きたい戦略 【施策体系】①地域経済雇用を牽引するものづくり産業の振興	2014市長マニフェスト	における位置付け	I-1-①	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進					
現況・課題	・経済、雇用を牽引する基幹産業である製造業の技術力の集積とARECを拠点とする産学官連携の取組みが特徴であり強みでもあります。このためARECを中核とする各種産業支援機関との連携により、次世代に向けた工業活性化の取組みを進め、しごとづくり及び雇用の確保を図ることが必要となります。また、経済のグローバル化に伴い、大手メーカーの海外現地生産化等が進んでいる中、下請け企業は生き残りをかけ、販路拡大や研究開発型企業へと展開を図る必要があるため、幅広く、かつ、きめ細かな企業支援が求められています。						
目的・効果	・広域連携による他市町村の多種多様な企業間の連携を推進し、地域経済の足腰を強くするとともに、既存産業の維持確保のみならず、次世代へとつながる新たな産業創出の支援、並びに雇用の創出を図ります。 ・販路開拓や農工商連携による6次産業化などに意欲的に取り組む中小企業者に対する支援を充実することで、中小企業の経営力の強化を図ります。また、中小企業の資金繰り支援である制度融資について、企業ニーズや経済情勢を踏まえたうえで弾力的に運用することで、中小企業のセーフティネットを充実します。 ・地域経済や雇用に関する関連機関との合同会議、各企業への経営実態調査や専門家派遣による事業所訪問等により、情報収集及び情報発信を図るとともに、支援プランを策定することで伴走型の商工業支援を図ります。						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）		期間・期限 （いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
①	○東信州広域連携による次世代産業創出支援 (1) 連携市町村による推進体制の整備 (2) 次世代産業創出に向けた事業の推進	(1) 7月 (2) 通年	(1) 協議会開催（7月） (2) ①企業の経営基盤を高めるための人材確保事業（2回） ②分野別講演会（10回）、技術展示会（2回） ③戦略プラン策定（3月）	(1) 協議会開催（1回7/7）、幹事会（1回6/27）、事務担当者会議（2回①5/11、②7/24） (2) ①人材育成事業（セミナー8回）、人材確保事業（2回6/14、9/20） ②分野別講演会5回、技術展示会1回、③戦略プラン策定（策定に向けた企業ヒアリング 9市町村実施率47.29%、3月策定予定）	(1) 協議会開催（1回7/7）、幹事会（3回6/27、10/4、3/27）、事務担当者会議（4回①5/11、②7/24、③11/13、④2/1）、エリア内コーディネータ連携会議（3回①8/21、②11/30、③1/31） (2) ①人材育成事業（セミナー26回）、人材確保事業（6回6/14大学キャリアセンター、9/20女性、10/27企業、11/11留学生、12/2シニア、3/13学生・社会人）、②分野別講演会9回、技術展示会2回、北陸新幹線沿線大学の研究シーズマッチング会1回、開放特許マッチング会1回、首都圏企業と地元企業のマッチング会1回、中核企業見学会2回、RESAS勉強会1回、先進地視察1回、トップセミナー2回、産業集積マップ作成、③戦略プラン策定（策定に向けた企業ヒアリング 9市町村実施率100%（270社）、3月素案策定・5月協議会で最終決定）		
②	○意欲ある中小企業のきめ細やかな経営支援 (1) 商工団体等との連携による販路開拓・受発注等、並びに各企業の産業展等出展支援 (2) 金融機関と協調した融資の強化 (3) ものづくり企業相談体制の充実	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月	(1) 3商工団体連携による共同出展の実施（4回以上）・販路拡大補助金による支援の実施（20件以上）・内外受発注（20件以上） (2) 融資実行300件 (3) 販路拡大等に向けた専門家派遣相談企業数（10社）	(1) 丸子産業フェスタ、諏訪メッセ、上田地域産業展出展準備（各10月開催予定）・販路拡大補助金の支援（14件）・域内外受発注マッチング等（67件） (2) 融資実行112件 (3) 専門家派遣企業数4社	(1) 3商工団体連携事業（共同出展6回、域内外受発注マッチング等128件）、産金官連携雇用創出事業による支援（3件）、販路拡大補助金の支援（31件） (2) 融資実行242件 (3) 専門家派遣企業数9社21回、ものづくり企業相談体制事業による共同出展2回（商談成立数31件）企業訪問数382件		
③	○信州上田ブランドのブランディング促進 (1) 信州上田のブランディング強化支援	(1) 4月～3月	(1) 新商品開発及び販路拡大によるブランディングを支援（10件）	(1) 支援件数1件（申請予定2件）	(1) 支援件数5件（上田紬1件、農民美術1件、地酒2件、味噌1件）、利き酒交流会（7/14、参加者350人）		
④	○関係機関との連携等による実態把握及び支援 (1) 商工会議所・金融機関と連携した企業の生産性及び経営力向上計画 (2) 経営支援や雇用支援に係る関係機関との連携を図るために地域雇用合同連絡会議を開催 (3) 経営実態調査や企業訪問による地域経済の情勢把握の充実 (4) メールマガジンなどによる情報発信の充実	(1) 4月～3月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(1) 連携した企業訪問（50件） (2) 地域経済雇用合同連絡会議の開催（4回） (3) 経営実態調査の実施（2回） 企業訪問（300件） (4) メールマガジンの発行（月2回以上）	(1) 連携した企業訪問（25件） (2) 地域経済雇用合同連絡会議の開催（2回） (3) 経営実態調査の実施（1回） 企業訪問（150件） (4) メールマガジン発行（月2回以上）	(1) 商工会議所・金融機関との連携による企業訪問（40件） (2) 地域経済雇用合同連絡会議の開催（4回） (3) 経営実態調査の実施（2回） (4) メールマガジンの発行（19回）		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・既存産業を衰退させることなく、雇用の維持確保、並びに新たな産業（しごとづくり）による雇用の創出が期待できる。			○取組による効果・残された課題			

重点目標		地方創生に向けた創業支援と企業誘致・留置の推進			部局名	商工観光部	優先順位	2位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第1節 起業・創業支援と中小企業の経営力強化	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 1 上田で働きたい戦略 【施策体系】 ③若者等の多様な働き方の支援 ⑤多様な産業の集積促進	2014市長マニフェスト における位置付け	I-1-①			
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(2) 支える財政基盤の改革 ア 歳入の確保							
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 地方創生を推進する上では、仕事を作り・雇用機会の拡大を図る施策を推進していくが重要となります。 そのためには、民間活力を高め、若者など起業しやすい環境を整えることや、地域特性を活かした様々な産業が集積し成長する必要があります。 地域労働力の担い手として女性の社会進出も喫緊の課題であります。 							
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 起業支援や首都圏等からの創業者の誘致を行い、市内企業と創業者とのコミュニティ形成による異業種交流を推進し、新たな商品・産業の創出を目指します。 工場誘致など雇用の創出や税収増による市内経済の活性化のみならず、市内製造業の高度化に寄与する研究機関や本社機能などの誘致を推進することで、市内企業活動の活性化を図ります。 							
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）				
① ○創業プラットフォームによる創業支援 (1)創業プラットフォーム構成団体と連携した創業支援の推進 (2)コワーキング施設を活用した異業種連携による創業支援 (3)コワーキング施設を活用した女性の社会進出支援	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)創業プラットフォームでの相談件数200件（通年） (2)首都圏等からの起業家誘致（通年） (3)研修により女性のスキルアップを向上（就業数10人）（通年）	(1)相談件数200件（4～9月） (2)コワーキング施設新たな入居者数（4件） (3)子育て女性社会進出促進支援による再就職数（13人）	(1)創業プラットフォームでの相談件数334件（142人）、創業33人 (2)コワーキング施設の新たな入居者（9件） ハナラボUnno（4件）、Gosyo（4件）、Tokida（1件） (3)コワーキング施設を活用した女性の雇用（36人）女性創業スクール（20回、参加者45人、創業13人）				
② ○地域の優位性を活かした企業誘致・留置の推進 (1)企業からの情報収集及び行政等からの情報提供 (2)国・県からの企業動向情報収集及び空き工場等の情報提供 (3)工場団地造成の検討	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)製造業の事業所訪問を200社以上による情報交換の実施（通年） (2)国や県の東京、名古屋、大阪事務所との情報交換を実施（5回） (3)工場団地造成の検討	(1)企業訪問150社 (2)長野県東京事務所と連携し、企業の誘致を進めている。定住自立圏市町村合同の企業立地フェア参加（1回：11/15～17 2017 産業交流展へ参加予定） (3)箱置工業団地の隣接地に第二期として、約5.3haの造成を計画し、9月補正に総事業費4億5千万円の債務負担行為を計上。	(1)企業訪問235社（協力隊167社、職員68社） (2)県長野事務所を中心に情報交換6回、定住自立圏市町村合同の産業交流展参加（1回：11/15～17）長野県東京事務所と連携し、企業間の相互協力の検討、宅建協会と上田市産業用地の情報共有及び活用に関する協定書を12月に締結、市内企業の駐車場用地拡張支援（3件）、金融機関との連携、情報共有 (3)箱置工業団地の隣接地に第二期として、9月補正に総事業費4億5千万円の債務負担行為を計上。翌月土地開発公社と協定書を締結し、造成に向け、測量、実施設計を実施				
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・新規創業者や女性の社会進出の支援を図り、地域経済に多様性を持たせることで活性化を図ります。 ・企業誘致を推進することで、税収確保を図り、市民の福祉向上につなげます。			○取組による効果・残された課題				

重点目標	UIJターン促進と若者等就職支援及び人材育成、雇用マッチングの推進		部局名	商工観光部	優先順位	3位
総合計画における位置付け	第3編 誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第4節 安心して働ける環境づくりと雇用創出	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】 1 上田で働きたい戦略 【施策体系】②人材育成・雇用マッチングの拡充	2014市長マニフェスト における位置付け	I-1-①	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住みたいと思えるまちづくりへの改革 ア 移住・定住・交流人口を増やす体制の確立					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の雇用環境は、ハローワーク上田管内（2月）の有効求人倍率が1.36倍となる等、堅調に推移しています。しかし、安定した職業に就けない若者等求職者も見受けられる一方、人材不足に苦慮する事業所も見受けられ、引き続き、就労支援施策及び求職・求人の雇用のマッチングの一層の充実が求められています。 人口減少対策（地方創生）が喫緊の課題である中、移住の重要なポイントとなる仕事探しに対する積極的な支援が必要となっています。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者と連携した「UIJターンと若者定住就職支援事業」の実施により、首都圏等の移住希望者の就職支援を通じて、移住しやすい環境を整え、地域若者等を安定した正規雇用につなげ、市内定住を促します。 上田職業安定協会等関係団体と連携し、学卒求職者に対し、合同就職面接会、インターンシップ等の機会を提供し、一人でも多くの学生を地域企業の正規雇用へ導きます。 上田市版ハローワークにおける専門員による労働・就職相談や求職者支援・職業能力開発等各種セミナー開催、職業訓練センターへの支援を通じて、職種や能力・技能のミスマッチを解消し、円滑な雇用マッチングを図り、雇用の維持・安定につなげます。 					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○民間人材派遣会社との連携によるUIJターンと若者定住就職支援事業の推進 (1) UIJターン希望者の地域企業就職（移住定住）支援 (2) 就職困難な地域若者等人材育成・就職支援	(1) 6月～3月 (2) 6月～3月	(1) 就職相談100人・お試し就業10人 UIJターン希望者の地域企業就職（移住定住）20人 (2) 正規雇用20人	(1) UIJターン希望者の就職相談44人 うち1人就職内定 (2) 地域若者等定住就職支援事業 第1期研修生9人受入	(1) UIJターン希望者の就職相談106人 うち13人就職内定 (2) 地域若者等定住就職支援事業 第1期研修生9人受入8人就職先決定、1人紹介予定派遣 第2期研修生11人受入7人就職先決定、1人紹介予定派、2人受入先事業所と面談中、1人県外就職		
② ○若年者の就職支援の推進 (1) 学卒者就職面接会等の開催 (2) 学生就職支援フォーラムの開催 (3) 学卒者募集企業に関する情報発信 (4) 学生の職場体験及び事業所見学会の実施 (5) 若年者の就業・社会復帰支援	(1) 4月～3月 (2) 10月 (3) 4月～3月 (4) 6月～2月 (5) 4月～3月	(1) 就職面接会5回、ガイダンス1回 (2) 100人参加 (3) 首都圏等の大学等650校に企業情報誌を配布、HPによる情報発信 (4) インターンシップ事業150人、事業所見学会350人 (5) 就業支援セミナー4回、就職困難者に対するカウンセリング等の実施による就職等25人	(1) 企業が「イターン」1回(5月14日・56人)、就職面接会1回(7月7日・90人) (2) 10/27開催予定 (3) 首都圏等大学等への企業情報誌配布590校 (4) 高校生・大学生インターンシップ(176人)、高校生事業所見学会(6月8日・13校406人) (5) 就職困難者就業支援セミナー1回(6月13日・23人)、就職困難者カウンセリング及び保護者面談の実施	(1) 企業が「イターン」3回(5月14日・56人、2月10日・54人、3月2日・116人)、就職面接会2回(7月7日・90人、11月2日・86人) (2) 上田産業展内で開催(10月27日・40人) (3) 首都圏等大学等への企業情報誌配布618校、高校卒業生へのLINEによる就職・地域情報発信開始(8高校) (4) 高校生・大学生インターンシップ(179人)、高校生事業所見学会(6月8日・13校406人) (5) 就職困難者就業支援セミナー5回(6月13日・23人、10月27日・20人、11月14日・26人、12月12日・22人、2月13日・30人)、就職困難者カウンセリング及び保護者面談の実施による就職決定者数17人		
③ ○上田市版ハローワーク事業の推進 (1) 上田市版ハローワークの開設 (2) 求職・労働相談、無料職業紹介の実施 (3) 企業の雇用維持・雇用創出支援と地域雇用情勢に係る情報の収集 (4) 求職者・勤労者のスキルアップと企業の人材育成等支援(再就職支援(パソコン)セミナー、仕事の探し方講座、定年退職前後の手続きセミナー)	(1) 7月 (2) 4月～3月 (3) 4月～3月 (4) 4月～3月	(2) 専門の相談員により相談を受け付け、関係機関と連携して支援を実施(280件) (3) 事業所訪問数200件(アンケート実施) (4) 再就職支援(パソコン)セミナー24回、仕事の探し方講座12回、定年退職前後の手続きセミナー5回	(1) 7月3日開設 (2) 求職・労働相談・無料就職紹介の実施(62件) (3) 事業所訪問数(179件) (4) 再就職支援パソコンセミナー(12回)、仕事の探し方講座(6回)、定年退職前後セミナー(2回)	(1) 7月3日開設 (2) 求職・労働相談・無料就職紹介の実施(相談112件うち7人就職先決定) (3) 事業所訪問数(364件)、雇用・経営に関する課題を聴取 (4) 再就職支援パソコンセミナー(24回)、仕事の探し方講座(12回)、定年退職前後セミナー(5回)、サポートセッション・シノ及びジョブカフェ信州との連携によるセミナー(12回)		
④ ○教育委員会との連携によるものづくり人材育成支援 (1) 地域企業経営者等による中学生ものづくり出前講座(通年) (2) 職場体験に関するアンケートの実施及び調査 (3) 親子会社見学会、ものづくり体験教室の開催 (4) 上田地域高等職業訓練センターとの連携	(1) 7月～3月 (2) 4月～3月 (3) 5月～3月 (4) 7月～3月	(1) 通年 (2) 市内三商工団体加入企業 受入可能件数の確認(通年) (3) 夏休み等各1回 (4) 中学生ものづくり体験受入支援(30人)	(1) 教育委員会との連携による講座の方法等について検討を進める。 (2) 職場体験の実施について、アンケートを実施 (3) 親子見学会4日間7企業等に延134人参加、ものづくり体験教室は1回14人の参加。 (4) 上田産業展において、ものづくり体験を実施予定	(1) 教育委員会との連携による講座の方法等について検討中 (2) 職場体験の実施について、アンケートを実施 (3) 親子見学会4日間7企業等に延134人参加、ものづくり体験教室は2回29人の参加。 (4) 上田産業展において、ものづくり出前授業を実施。40人参加		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・求職者の就職活動の多様化に対応し、上田市版ハローワークを開設するとともに、公的雇用推進団体だけでなくNPO法人や民間職業紹介(人材育成)事業者と連携し、一層の就職支援の推進を図ります。		○取組による効果・残された課題 ・関係課及び民間事業者との連携のもと、移住希望者に対する職の面での支援により、移住を検討しやすい環境を整え、地域への移住を促すことができた。 ・学生の就職面接会等への参加者が減少化傾向にあるなか、より効果的で時代に即した手法を検討することにより、都市圏等からのUIJターン及び地元就職を促進する必要がある。			

平成29年度 重点目標管理シート

重点目標	ポスト「真田丸」を見据えた国内外の観光振興		部局名	商工観光部	優先順位	4位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 誰もがいきいき働き 産業が育つまちづくり 第3章 魅力ある観光地づくり 第1節 おもてなしで迎える観光の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】3 訪れたい・住みたいうえだ戦略 【施策体系】①地域資源を生かした知名度アップと交流促進	2014市長マニフェスト における位置付け	I-1-① I-3-⑥	
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け	(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 (イ)多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり (ウ) 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ「真田丸」により上田市の知名度は飛躍的に向上し、さらにこれまで真田氏を最大限活用した様々な観光PRを実施してきた成果もあり、上田市への観光客入込数は増加している状況です。 ポスト「真田丸」を見据え、観光による地域経済効果を高めるためには、滞在型・宿泊型の観光地を目指すとともに、さらに多くの観光客の方々に信州上田ファンとなり、リピーターとなっていただく必要があります。 2020年の東京オリンピック・パラリンピックを踏まえ、外国人観光客誘客（インバウンド）の強化を図るために、長野市と松本市とのトライアングル連携といった様々な広域的観光施策の事業展開が重要です。 上田市の観光を牽引する組織として「一般社団法人 信州上田観光協会」の主体的な観光事業活動が、更に求められるものと考えます。 					
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 真田ブランドを活用し、大河ドラマ「真田丸」にともない発掘された史跡や武将等も、新しい観光資源「真田丸遺産」であることから、真田氏ゆかりの観光資源として、更にPRを進めていきます。 真田氏の歴史の他にも、様々な観光資源を有しており、菅平や美ヶ原高原、温泉地、寺社仏閣、養蚕の産業遺産といった数多くの素材があり、これらの観光資源を活用することで、観光交流人口の増加に繋げ、活力ある地域づくりに向けて、更なる知名度を高めていくことが可能となります。 2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド施策として、大河ドラマ「真田丸」が放送された台湾を中心に、長野市・松本市等との広域観光連携も含めた外国人誘客活動を進めます。 観光施策の更なる推進のため、「一般社団法人 信州上田観光協会」での事業展開を積極的に図ってまいります。 					
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）		
① ○ポスト「真田丸」を見据え、真田ブランド活用した観光誘客の推進 (1)大河ドラマ館後利用とした「特別企画展」(400年の時を経て甦る上田城)の開催 (2)信州上田観光プレジデント活用事業の展開 (3)真田氏をコンセプトとしたイベントの開催 ア 「上田城千本桜まつり」 イ 「上田真田まつり」 ウ 「上田城紅葉まつり」	(1) 4月～11月 (2) 通年 (3)-ア 4月 (3)-イ 4月 (3)-ウ 11月	(1) 目標来場者数 10万人 (2) 上田城千本桜まつり、上田真田まつり等イベントへの出演及びPR活動3～4回 (3)-ア 目標来場者数 30万人 (3)-イ 目標来場者数 7万人 (3)-ウ 目標来場者数 5万人	(1) 9月末現在、91,991人 (2) 上田城千本桜まつり 特別企画展オープニング 上田真田まつり に出演 上田城紅葉まつりに出演予定 PR媒体の撮影スケジュールを作成中 (3)-ア 来場者数 36万人 (3)-イ 来場者数 10万人 (3)-ウ 11月3,4,5日に開催予定	(1) 最終入館者数 117,524人 (2) 上田城千本桜まつり 特別企画展オープニング 上田真田まつりに出演 上田城紅葉まつりに出演 PRパンフレット、映像、ポスターを製作 (3)-ア 来場者数 36万人 (3)-イ 来場者数 10万人 (3)-ウ 来場者数 4万人		
② ○広域観光振興事業の推進 (1)デスティネーションキャンペーン事業 ア パンフレット、ポスター等製作・配布 イ 誘客PRイベント事業の実施 ウ 特別企画 エ 宿泊キャンペーン等 (2)広域観光連携事業 ア 真田街道推進機構等との連携事業 イ 長野市、松本市との観光連携事業 ウ 観光路線バス運行 エ ウルトラ・オリエンテーリングの開催 オ 観光関係組織との連携 カ 定住自立圏・上田地域観光協議会 キ 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 ク 上信越道沿線地域連絡会 ク 信州シルクロード連携協議会 ケ 温泉協会・忍者協議会 コ 関東観光広域連携事業推進協議会 その他	(1)-ア 通年 (1)-イ 通年 (1)-ウ 通年 (2)-ア 通年 (2)-イ 通年 (2)-ウ 通年 (2)-エ 通年	(1)-ア ホスター等の関係機関への配布 (1)-イ PR事業 2回 (1)-ウ 特別企画 1回 (2)-ア 真田氏関連自治体等でのスタッフラリー (2)-イ 共同パンフレット製作 上田-松本間観光路線バス運行 イベント開催 10月 (2)-ウ 合同観光キャンペーン等 5回以上 合同パンフレット増刷	(1)-ア ホスター23枚、パンフ1,500部 (1)-イ 県と協力して観光キャンペーンを実施 4回 大宮5/19、立川5/20、名古屋5/26,27、金沢6/11 (1)-ウ 宿泊キャンペーン 2回 ホスター掲出や市のHPに信州DCサイトへのリンク貼付 信州DCオフラインイベントin上田駅(7/1) 信州フェアin長野駅(7/8,9) (2)-ア 真田氏関連自治体等でのスタッフラリー 真田氏ゆかりの地をめぐるスタッフラリーを実施(4/1～) (2)-イ 三市連携共同パンフレット「城まちじゃらん」製作 上田-松本間観光路線バス運行 ウルトラオリエンテーリング開催予定(10/14) (2)-ウ 合同観光キャンペーン等 5回 広域連合同合同キャンペーン(8/10金沢、3/17,18名古屋)、上信越道沿線地域協議会(定住自立圏市町村加盟)キャンペーン(8/26 菅蒲PA)、 「絹の道プロジェクト」(シル関連自治体で構成)キャンペーン(8/27上里SA)、松本市・長野市合同の大阪観光キャンペーン 2回(5/18～20、8/1,2)	(1)-ア ホスター23枚、パンフ1,500部 (1)-イ 県と協力して観光キャンペーンを実施 4回 大宮5/19、立川5/20、名古屋5/26,27、金沢6/11 (1)-ウ 宿泊キャンペーン 2回 ホスター掲出や市のHPに信州DCサイトへのリンク貼付 信州DCオフラインイベントin上田駅(7/1) 信州フェアin長野駅(7/8,9) (2)-ア 真田氏関連自治体等でのスタッフラリー 応募者数2,268人 真田氏ゆかりの地をめぐるスタッフラリーを実施(4/1～) (2)-イ 三市連携共同パンフレット「城まちじゃらん」製作 上田-松本間観光路線バス運行 利用者数2,301人 ウルトラオリエンテーリング開催(10/14) (2)-ウ 合同観光キャンペーン等12回 広域連合同合同キャンペーン(8/10金沢、3/17,18名古屋)、上信越道沿線地域協議会(定住自立圏市町村加盟)キャンペーン(8/26 菅蒲PA、12/2上里SA、3/10海ほたる)、 「絹の道プロジェクト」キャンペーン(8/27)、松本市・長野市合同観光キャンペーン 3回(大阪5/18～20、8/1,2、福岡10/20～22)、信州シルクロードPR(11/19富岡)、あべのNINJAまつり(2/18)、池袋キャンペーン(3/11)等		
③ ○インバウンドへの取り組み (1)外国人観光客誘客促進 ア 外国旅行エージェントへのPR イ 海外での観光PRの実施検討 (2)外国人観光客受入体制の整備 ア 官民連携によるインバウンド事業の推進 イ 外国語版ホームページの運営 ウ 外国語観光パンフレットの製作・配布	(1)-ア 通年 (1)-イ 通年 (2)-ア 通年 (2)-イ 通年 (2)-ウ 通年	(1)-ア 2回以上 (1)-イ 海外観光PR実施検討 (2)-ア インバウンドミーティングの開催 (2)-イ HPの運営・更新 随時 (2)-ウ 5ヶ国語以上	(1)-ア 海外エージェント商談会の参加 4回(5月、6月、9月) (1)-イ 台湾(高雄市)観光キャンペーン実施 1回 (2)-ア インバウンドミーティング(全体会1回、講習会1回、コア会2回) (2)-イ HPの運営・更新 随時 (2)-ウ 外国語パンフレットの随時配布の実施	(1)-ア 海外エージェント商談会の参加 6回(5、6、9、10、2月) (1)-イ 台湾(高雄、台北)、ベトナム(ホーチミン)、タイ(バンコク)旅行博 観光キャンペーン実施 4回 (2)-ア インバウンドミーティング(全体会2回、セミナー等2回、コア会4回) (2)-イ HPの運営・更新 随時 (2)-ウ 外国語パンフレットの随時配布の実施		
④ ○一般社団法人 信州上田観光協会設立・運営 (1)法人の設立運営及び観光振興の推進 (2)観光誘客宣伝事業の強化推進 ア 信州上田おもてなし武将隊を活用したPR活動 イ 県外でのPR活動 ウ 首都圏方面でのラッピングバスの運行 エ DMOの研究	(1) 平成29年度中 (2)-ア 通年 (2)-イ 通年 (2)-ウ 通年 (2)-エ 通年	(1) 平成29年4月3日設立 (2)-ア 上田城300回 (2)-イ 20回 (2)-ウ 通年実施 (2)-エ 通年	(1) 平成29年4月3日設立及び、運営 (2)-ア 上田城でのおもてなし活動 183回 (2)-イ 県外でのPR活動 7回 (2)-ウ 首都圏でのラッピングバス運行の通年実施 (2)-エ DMOセミナー(6月JNTO主催)の参加 1回	(1) 平成29年4月3日設立及び、運営 (2)-ア 上田城でのおもてなし活動 349回 (2)-イ 県外でのPR活動 18回 (2)-ウ 首都圏でのラッピングバス運行通年実施 (2)-エ DMOセミナー(6月、10月、1月JNTO主催)参加 3回		
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点		○取組による効果・残された課題			

重点目標		中心市街地の活性化と中心商店街への回遊促進		部局名	商工観光部	優先順位	5位
総合計画における位置付け	第3編 産業・経済 第2章 新たな価値を創造する商工・サービス業の振興 第3節 賑わいと活力ある商業の振興	まち・ひと・しごと創生総合戦略における位置付け	【戦略】3 訪れたい・住みたいうた戦略 【施策体系】①地域資源を生かした知名度アップと交流促進	2014市長マニフェスト における位置付け	I-1-①		
第三次上田市行財政改革大綱・アクションプログラムにおける位置付け		(1) 住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革 ウ 広域連携の推進					
現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ「真田丸」の放送を契機として、中心市街地活性化拠点施設の一つとして整備した「真田十勇士ガーデンプレイス」への誘客を図るためには、引き続き上田商工会議所及び周辺商店街などの関係機関との密接な連携・協力が不可欠です。 NHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、上田市を訪れる観光客が増加していることから、中心市街地活性化拠点施設としての池波正太郎真田太平記館の魅力発信と来館者増加に取り組み観光客の回遊を図る必要があります。 						
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 上田商工会議所及び周辺商店街などの関係機関と密接に連携し、真田十勇士ガーデンプレイスや池波正太郎真田太平記館への誘客を含め中心市街地での賑わい創出とまちなか回遊の促進を図るとともに、中心商店街の販売促進を支援します。 池波正太郎氏及び池波正太郎真田太平記館の魅力を発信し、来館者の増加と観光客の回遊を促進します。 						
取組項目及び方法・手段（何をどのように）	期間・期限（いつ・いつまでに）	数値目標（どの水準まで）	中間報告（目標に対する進捗状況・進捗度）	期末報告（目標に対する達成状況・達成度）			
① ○商工団体及び商店街等の連携による真田十勇士ガーデンプレイスへの誘客と商店街の販売促進支援 (1)市、上田商工会議所及び商店街が参画する運営実務会議の定期的な開催 (2) 忍者をテーマとする展示及び体験企画の実施 (3) SNSを活用した情報発信 (4) イベント開催時における商店街の販売促進支援	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月 (4)4月～3月	(1)運営実務会議 月1回以上開催 (2)展示及び体験企画の実施 (3)情報発信 随時実施 (4)販売促進支援 イベント開催時に適宜実施	(1)運営実務会議 11回開催 (2)猿飛佐助のモデルといわれ、真田家に仕えたとされる横谷一族の資料の展示、落第忍者乱太郎原画展の開催、手裏剣・吹き矢の体験やなりきり体験コーナーを設置 (3)フェスブックやツイッターによる定期的な情報発信 (4)利き酒会交流会とビアガーデンキックオフイベントの同時開催、イベント開催時における食の提供や優待券の事前配布などの支援を実施	(1)運営実務会議 19回開催 (2)猿飛佐助のモデルといわれ、真田家に仕えたとされる横谷一族の資料の展示、落第忍者乱太郎原画展の開催、手裏剣・吹き矢の体験やなりきり体験コーナーを設置、子ども忍者服のレンタルを開始 (3)フェスブックやツイッターによる定期的な情報発信 (4)忍者関連、利き酒交流会、ビアガーデン、ワインフェスタなどのイベントの開催 33回 イベント開催時には、食の提供や優待券の事前配布などの商店街の販売促進を積極的に支援			
③ ○上田商工会議所及びまちなかキャンパスと連携し、商店街及び関係団体の協力のもと、商店街及び各個店に関する情報発信の充実 (1)学生による商店街のまち歩き取材 (2)取材結果などを踏まえ、商店街及び各個店に関する総合ウェブサイトの構築と情報発信 (3)商店街関係者を話題提供者とし、まちについての情報交換を行う座談会「まちなか商店街トーク」の開催支援	(1)4月～3月 (2)4月～3月 (3)4月～3月	(1)学生と協力店の募集、取材の実施 (2)情報収集、ウェブサイトの構築、情報発信 (3)話題提供者の募集とトーク開催の支援	(1)学生とのまちなか取材 5回実施 (2)各店舗への取材 30店舗 (3)まちなか商店街トーク 5回開催	(1)学生とのまちなか取材 6回実施 (2)上田商工会議所とまちなかキャンパスうただと連携し、各店舗への取材を完了 36店舗 中心商店街総合ウェブサイト「上田まちなか商店街」を構築、3月30日から公開 (3)まちなか商店街トーク 6回開催			
② ○池波正太郎真田太平記館の魅力発信と関係機関・商店街等との連携による市街地活性化の促進 (1)企画展・写真展などの開催による事業の充実 (2)水路ろ過ポンプ改修による構内環境の整備 (3)周辺商店街との連携によるイベント開催 (4)館内・シアターの展示環境等の整備	(1)4月～3月 (2)4月～9月 (3)4月～11月 (4)4月～9月	(1)企画展・写真展 4回開催 (2)水路ろ過ポンプの改修 (3)イベント1回開催 (4)館内照明のLED化及びシアター映像機器の更新	(1)企画展 春の企画展（4月・5月開催済）、夏の企画展（6月～8月開催済）、秋の企画展（開催中） (2)水路ろ過ポンプ改修 6月～9月実施済 (3)ガーデンプレイス原画展の関連展示（忍具等）秋企画展で実施中 (4)館内照明のLED化 7月実施済 シアター映像機器の更新 7月実施済	(1)春の企画展 3/25～5/28 入館者数 6,310人、夏の企画展 6/17～8/27 入館者数 5,239人、秋の企画展 9/9～11/26 入館者数 5,076人、冬企画展 12/9～2/25 入館者数 2,321人 年間入館者数 H28 54,172人 H29 21,455人 (2)水路ろ過ポンプ改修(6/2～9/29)に実施・完了 (3)ガーデンプレイスでの忍者関連イベント(8月～9月)に呼応し、忍者を描いた池波作品をテーマに冬の企画展、関連講座(1/25)を開催 (4)館内照明LED化(7/20完了)、シアター映像機器更新(7/31完了)			
特記事項	○市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮した点 ・上田城跡公園からの中心商店街への回遊の促進と中心商店街の販売促進を図ります。		○取組による効果・残された課題 ・中心商店街への回遊促進と販売促進を劇的に向上させる取組はないが、上田商工会議所などの関係機関と連携し、情報発信を強化するなど地道な取組を積み重ねていくことが重要である。				